



平成28年度
南アルプス世界自然遺産登録推進事業
(ユネスコエコパーク推進事業)
実績報告

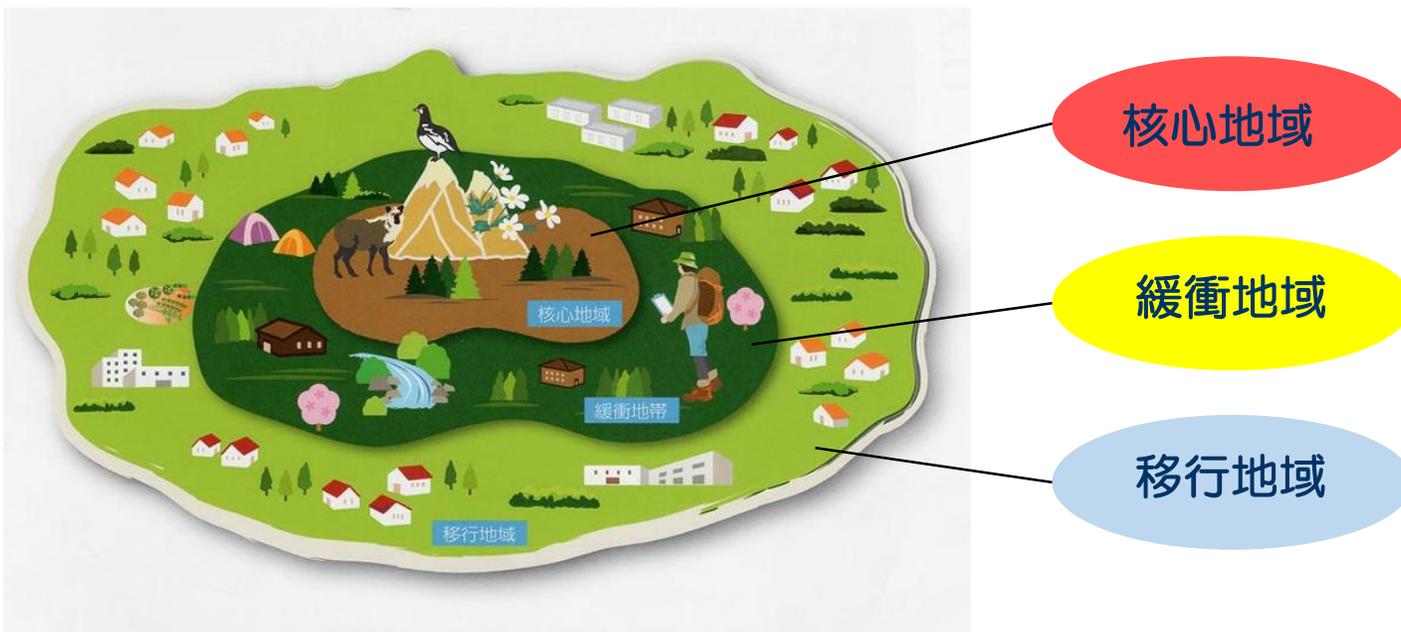
高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性
南アルプスユネスコエコパーク

ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパークとは、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）」を目的として、ユネスコが認定する取り組みです。具体的には、「地域の自然と文化を守りながら、地域社会の発展を目指す取り組み」で、世界では「生物圏保存地域（Biosphere Reserves）」と呼ばれて、現在120カ国669地域、日本では7地域が登録されています。（平成28年3月現在）

南アルプスユネスコエコパークは、山梨県、静岡県、長野県にまたがる、日本最大のエリアを持つエコパークで、山梨県では、北杜市のほか、南アルプス市、韮崎市、早川町が登録されています。

総面積	302,474ha
核心地域	24,970ha
緩衝地域	72,389ha
移行地域	205,115ha



日本のユネスコエコパーク

Shiga Highland Biosphere Reserve
志賀高原生物圏保存地域

Mt. Hakusan Biosphere Reserve
白山生物圏保存地域

Tadami Biosphere Reserve
只見生物圏保存地域

Aya Biosphere Reserve
綾生物圏保存地域

Minami-Alps Biosphere Reserve
南アルプス生物圏保存地域

Mt. Odaigahara and Mt. Omine
Biosphere Reserve
大台ヶ原・大峯山生物圏保存地域

Yakushima Island Biosphere Reserve
屋久島生物圏保存地域

南アルプスユネスコエコパークのエリア

エリアは、南アルプス国立公園を中心とした地域

➡ 北杜市は、白州・武川をエリアとして登録

核心地域・・・国立公園の特別保護地区など自然環境を守らなければならない大切な地域で、北杜市では南アルプス国立公園の地域で適切に保護されています。

緩衝地域・・・核心地域の周辺で、環境教育、野外活動、調査活動等に利用できる地域であり、山梨県立自然公園の地域です。

移行地域・・・私たちが暮らしを営んでいる地域で、様々な社会活動が行われています。

白州・武川エリアの資源

山・・・甲斐駒ヶ岳、地蔵ヶ岳、日向山など

景観・・・山岳景観日本一、尾白川溪谷、

精進ヶ滝、桜、里山、田園など

水・・・清流(尾白川、神宮川、大武川、

石空川など)、ミネラルウォーター生産量が全国の約3割を占める

産物・・・米、そば、長芋など

歴史・文化・・・台ヶ原宿、神社、山岳信仰、

民話、虎頭の舞、奉納相撲、

大和神楽など

ユネスコエコパークの魅力は

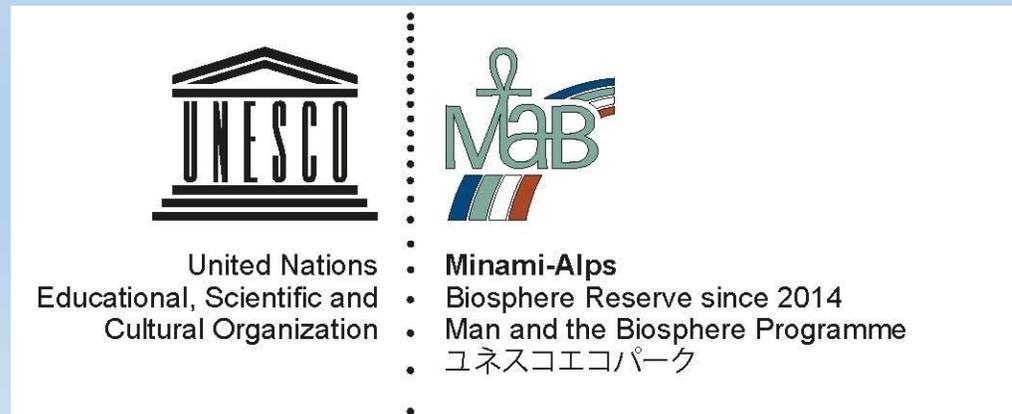
- ・南アルプスの山岳環境を永続的に保全していく体制づくりを行い、豊かな自然環境を守り伝えていくことができます。
- ・ユネスコエコパークとして、ふるさとの魅力を世界へ発信することで、国内外から観光や教育を目的とした旅行者の増加が期待できます。
- ・新しい法律や規制はありません。国内の既存の法律などで管理されます。
- ・環境教育や学術研究の実践の場として活用できます。

南アルプスユネスコエコパーク事業の目的

・甲斐駒ヶ岳を中心とした世界に誇れる貴重な資源を再発見・再認識し、自然と文化のつながりを市民共有の財産として位置づけ、優れた自然環境の継続的、永続的な利活用をはかりながら、魅力あるまちづくりを進めることを目的としています。

（北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会規約より抜粋）

・この目的を達成するため、北杜市では市民、企業、団体、行政が一体となり、『北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会』を設立して、市と協働で事業を実施しています。



平成28年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

事業名	科目	予算額	決算額
子ども公民館劇場事業(子どもたちの体験発表会)	報償費ほか	122千円	116千円
甲斐駒ヶ岳開山200年記念事業	負担金	6,800千円	6,681千円
甲斐駒ヶ岳五合目小屋跡ゴミ撤去・登山道整備事業	補助金	2,888千円	1,614千円
地域連絡会伝統芸能等保存事業	補助金	500千円	191千円
地域連絡会研修事業	補助金	762千円	174千円
PR、情報発信事業	消耗品費 印刷製本費 広告料 補助金ほか	4,888千円	4,069千円
関係市町村との連携事業	負担金ほか	854千円	823千円

平成28年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

1. 子ども公民館劇場事業(子どもたちの体験発表会)

■ 予算額 122千円 決算額 116千円

概要

白州小学校及び武川小学校の児童が、南アルプスユネスコエコパークに登録された地域を調査、分析し、発表等を行うもの。

決算額内訳

外部講師報酬 + 講師旅費
100千円 16千円

三重県鳥羽市で活躍している江崎貴久さんを招き、出前授業をしていただいた。江崎さんは、旅館の女将の傍ら、観光ガイド会社を運営している。どのように思いを伝えるか、人の気持ちを動かすかなど、教えていただいた。

武川小5年生授業の様子 →
地域主催イベントで体験発表 ↓



→
江崎さんの授業風景



平成28年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

2. 甲斐駒ヶ岳開山200年記念事業

■ 予算額 6,800千円 決算額 6,681千円

概要

甲斐駒ヶ岳は、文化13年(1816年)、小尾権三郎(長野県諏訪郡生)によって開山された。昨年が開山200年の節目の年であったことから、記念事業を開催した。

① 記念シンポジウム～講演～

登山家の三浦雄一郎氏を講師に「南アルプス・甲斐駒ヶ岳を見上げて」と題し基調講演をいただいた。

② 記念シンポジウム～パネルディスカッション～

本市在住の登山家・花谷泰広氏、「甲斐駒開山」の著者である宮崎吉宏氏、南アルプス自然観察員の遠山若枝氏と北杜市長の4名により「甲斐駒ヶ岳の魅力」について行った。

③ 魅力歴史展

甲斐駒開山に関する資料や魅力を語る写真、関連する新聞記事等のパネル展示を行った。



基調講演



パネルディスカッション

④ 記念登山

八ヶ岳アウトドアアクティビティーズに委託し、甲斐駒ヶ岳、尾白川溪谷、入笠山で記念登山を実施した。

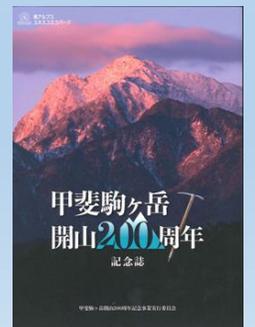
⑤ 記念誌

記念シンポジウム、魅力歴史展等の資料をまとめ、記念誌を3,000部作成した。

→ 魅力歴史展



← 記念登山



← 記念誌

平成28年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

3. 甲斐駒ヶ岳五合目小屋跡ゴミ撤去・登山道整備事業

甲斐駒ヶ岳登山道にあるゴミの撤去作業を実施し、集めたゴミはヘリコプターで降ろして撤去することで環境の保全・美化に努めた。

市文化財である「中山砦」への登山道整備を実施した。 決算額 1,614千円

→ ゴミ撤去



→ ゴミ撤去後の法面保護



↑ 登山道整備の様子

4. 地域連絡会伝統芸能等保存事業

市民等に対して、白州町、武川町の民謡や民踊、民話を伝えるイベントを開催した。同時に映像収録を行い、資料として保存し、市内図書館で貸出も行えるようにした。

10月23日 民謡、民踊、民話を語る会開催

決算額 191千円



↑ 市民による民話の披露

↓ 舞踊部による披露



平成28年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

5. 地域連絡会研修事業

南アルプスユネスコエコパークを構成する自治体のひとつ、長野県伊那市を訪問し、エコツーリズムの取組、伝統文化等保存施設の見学等を行った。また、市内においても南アルプスの成り立ちに関する講演会を開催した。

実施額 174千円

↓ 講演会の様子



↑ 視察研修 →



6. PR、情報発信事業

認知度の向上を図るため、広告への掲載、情報発信拠点である道の駅はくしゅう、甲斐駒センターせせらぎの情報コーナーの充実を図った。また、パンフレットの多言語版(英語・韓国語)を作成し、研修への対応も行う。

決算額 4,069千円



平成28年度南アルプスユネスコエコパーク関連事業

7. 関係市町村との連携事業

3県10市町村で組織する協議会及び山梨県連絡協議会での実施事業への協力

決算額 823千円

ニホンジカによる食害を解説するパンフレットを作成した。

ニホンジカの増加による交通事故の増加や、植物の減少による土砂崩れの可能性などを、絵本仕立てに表現している。

南アルプスユネスコエコパークをPR



絵本仕立てで読みやすい



市内図書館での閲覧のほか、小学校高学年を対象とした、道徳の授業や環境教育に役立てていく。



**南アルプスをPRし、市民に再認識してもらおうとともに、後世に守り伝えるため、市民、企業と一体となり事業を進めて参ります。
ご静聴ありがとうございました。**